

# 株式会社クロフネファーム 案浦 豊土 (アノウ トキ)

## 【案浦豊土プロフィール】

株式会社クロフネファーム 代表取締役

- ◆1978年5月9日生まれ。
- ◆福岡県糟屋郡粕屋町出身。
- ◆同志社大学経済学部卒業。1998年度生。
- ◆現在：野菜を中心としたビュッフェレストラン『クロフネファーム(就労支援A型施設)』を経営。接客業での障がい者の方が働く場所を作り、仕事の楽しさを共に分かち合っている。『働くことでの生きがいの創造』という演題で講演活動も行っており、障がい者就労に対する意識や見解を広く伝えている。将来の目標は、『47都道府県クロフネファーム化』であり、一人でも多くの障がい者の方が働ける場所を広げることに努めている。現在は、コロナの影響でレストランを一時休業。業態をドレッシング製造に切り替え、新しい障がい者就労の形を模索中。



## 【これまでの道のり】

大学卒業を目前に控え将来の進路を考えていた時、人生で初めて知り合いの結婚式に参加。結婚式という華やかな舞台に憧れがあり、期待に胸を膨らませ参加したが、淡々と進行されていく面白味のない結婚式に落胆する。

『将来は自分がウエディングプランナーになり、知り合いの結婚式を全部挙げてあげよう』と心に誓う。ウエディング業界へ進み、将来は独自のウエディングの会社を作ることを決意。

2005年、東京から転職で三重の地へ。有限会社クロフネカンパニーに入社し、ウエディングの勉強をする傍ら、代表である中村文昭氏のマネージャーを務める。

一日に40～50件ほど鳴る電話の対応をしながら、『頼まれ事は試され事』を合言葉に、頼まれることは断らずに全てをこなしていった。一時期はウエディングプランナー補佐、中村文昭マネージャー、イベント企画、ホールスタッフ、物販管理をこなす。

そんな中、中村文昭が出張先の仙台で、障がい福祉事業所としての野菜ビュッフェレストラン『六丁目農園』に出会う。『この料理を障がい者さんたちが作っているのか！』と、その料理のクオリティの高さと美味しさに感動し、このモデルを伊勢でもやろうと提案がある。会社の事業としてやっていくことが決まったときに案浦が責任者を任せられる。当時は飲食の経験がわずかにあっただけで、障がい福祉に関しては知識や経験は一切なく、全くのド素人。文字通り1からのスタートとなった。

2016年12月12日、クロフネファーム～伊勢からやさしい風が吹きますように～がオープン。連日たくさんのお客様にご来店いただき、25名の障がい者スタッフとともに、お客様に喜んでいただくための新メニューの考案や、様々なイベントを企画している。ひとりひとりの個性・能力と向き合いながら、可能性を信じて日々新しいことに挑戦している。

2020年、新型コロナウイルスの影響によりレストランを一時休業。いち早く業務内容を、ドレッシング製造に切り替える。

2019年8月、オンラインサロン『47都道府県クロフネファーム化計画！！』を開設。全国各地のメンバーと共に、新しい形の障がい福祉事業を47都道府県すべての地区に開設する目標を掲げている。